



一吟徹心霊  
一曲能興国

錦友…第317号

〈令和6年4月25日〉

・編集・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
・発行・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
東京都港区麻布十番2-4-14  
電話:東京03-5484-3301(代)  
〒106-0045



懇蘇聯 (それんにうつつ)

一般社団法人詩吟朗詠錦城会

専務理事 土師城皓

昭和五十年七月十七日、北海道札幌の地に於いて初めて詩吟朗詠錦城流・錦城会の全国大会を開催するにあたり、我が国の領土である北方領土(国後、択捉、歯舞、色丹)を日本に返して欲しい願いをこめた漢詩を、流祖・山元錦城先生が、呢懇の漢詩家の大野恵造先生に直接お願いして出来た七言絶句の漢詩の題が「懇蘇聯」であった。

北海道内はもとより全国民一体となりソ連国に訴える男女二詩をお作りいただき「北海道厚生年金会館大ホール」において、出吟者全員で合吟したのが初めてで、会場の二千名を超える来場者より万雷の拍手を頂いた。その後は、各都道府県本部・支部・道場・吟詠部で機会ある

ことに吟じられ、特に青年部の全国大会、吟行会、会議などの機会には必ず「懇蘇聯」を吟じ北方領土返還を訴えてきた。特筆すべきは、再び昭和五十四年二月二日「さっぽろ雪まつり」が札幌市大通り公園で開催されるにあたり、錦城流の詩吟を発表する機会が得られ、現宗家、夏秋宗範、松尾総師範、そして地元会員等、約七〇名が北海道テレビ放送局製作の大画像「明治村」の大ステージに上がり、北方領土の早期返還を願い、北方四島に届けと再び札幌の地で「懇蘇聯」を吟じることができたことである。会場は、氷点下十度にもなっていたが、大勢の観客は、皆、微動だにせず聞き入り、続く北海道に関連する「悲

恋マリモの歌」、「氷雪の門慰霊碑を押し感有」等を披露した。最前列におられたご婦人が涙を流しながら聞いてくださった姿が、今も心に残っている。改めて、なぜ北方領土返還が話題になるかですが、本年二月七日は国が定めた「北方領土の日」に制定されているが、この日は具体的に何をする日なのだろうか、理解していません。ここで改めて北方領土問題について考えてみる。

北方領土問題とは、第二次世界大戦終戦後に、ソ連軍が日本の領土である北方四島に侵攻しソ連(現在はロシア・露西亜・露国)が法的根拠なく今日まで四島全体を実効支配していることにある。

この四島は北海道から最も近い島までおよそ四km、遠い島まで百四十五kmであり、島の面積合計が約五〇〇〇km<sup>2</sup>で愛知県の面積とほぼ等しい。

ロシアが日本との交渉国となった。その後、日露間に於いて日本の首相等とロシアのメドベージェフ大統領、プーチン大統領等と数次に亘る首脳会談を行ったが、今日まで四島返還には至っていない。特にプーチン大統領は、二〇一七年に返還後の北方領土に米軍基地が置かれる可能性を指摘している。日米間には地位協定があり、例えば北方四島には米軍基地は作らないと日米間で取り決めロシアの了解が得られれば、北方四島は、返還に到るのであろうか。

◆新組織体の紹介◆

福岡県大野城道場  
道場長 東本錦恰

ただ、交渉相手はソ連ではなく、今は露国(ロシア)である。吟題を替えることは大変なことと思われるが、いつの日か「懇露国」に代わる日が来れば良いと願っている。

次頁に「懇蘇聯」を記す。

「戀 蘇 聯」 大野恵造

女子用 (1)

それい いま なお しように とどまる  
 祖 靈 今 尚 留 四 島  
 とうて これをなくさめんと ほつするも  
 おもむくことあたわず  
 訪 欲 慰 之 不 能 赴  
 それんよ きこくに ち あり なみだあれば  
 蘇 聯 有 血 涙 貴 国  
 ほくへんの ちは ただちに われにかえずべし  
 北 辺 地 直 可 返 吾

男子用 (2)

くもは ふかし クナシリ エトロフの そら  
 雲 深 国 後 択 捉 空  
 うらみてなるは ハボマイ シコタン の うみ  
 恨 鳴 齒 舞 色 丹 海  
 ほつぼう りやうど いつのひにか かえる  
 北 方 領 土 何 日 還  
 たんそく ときをひさしめうす いちおくのたみ  
 嘆 息 久 時 一 億 民

日本伝統文化吟友会 吟剣詩舞コンクール 決勝大会を終えて (令和5年度決勝)

皆さん頑張られ、結果は次の通りです。

詩舞 藤井美由紀(緑凜)

詩舞一般二部優賞

優秀舞士認定証

日本伝統文化振興財団賞

受賞

吟詠

漢詩・少年の部

北中彩月 三位

漢詩・一般四部

平川智久

審査員特別賞

以上の方が入賞されました。今年も更に練習を重ね頑張ってくださいと思います。

(広島県本部 西川錦光)



藤井緑凜さん

詩舞一般二部優賞

6度目の全国大会で優勝することが出来、とても嬉しいです。ご指導頂いている先生、諸先輩方のおかげです。ありがとうございます。教場の皆さんも、とても喜んで下さっていることが幸いです。

詩吟と詩舞は、私の人生に彩りを与えてくれます。錦城流にめぐりあえたご縁に感謝いたします。今後とも真摯に精進して参ります。

(詩舞道錦城流広島支部 藤井緑凜(美由紀))

令和5年度大田区詩吟舞道連盟コンクール大会 須山錦尚さん優賞

東京都大田区には「大田区詩吟舞道連盟」という各詩吟の会が所属する団体があり、昭和37年から毎年7月にコンクール大会を開催しています。一般社団法人詩吟詠錦城会認可太田支部も加盟しており、毎年数名出場していました。

令和5年は、第61回目で、7月30日、大田区文化の森ホールにて21名参加の中、須山錦尚さんが見事一位となりました。

須山さんは、平成10年11月入門後、平成16年から毎年コン



クールに出場し、16回目の挑戦で、見事優勝を勝ち取りました。須山城蔵先生のお弟子さんで、令和3年4月より、山元錦隆先生の特訓指導を受けていたとのことです。

大田区詩吟舞道連盟のコンクール大会には、過去、錦城会太田支部から7名の優勝者を出しています。これからも太田支部会員頑張ってください。

(太田支部詩吟舞道連盟 事務局兼務 中野錦修)

◆新総師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
明智城秀	(滋賀県)	6・1
橋本錦映	(滋賀県)	6・1
外池城雲	(滋賀県)	6・1
木保城和	(滋賀県)	6・1
土田城紘	(滋賀県)	6・1

◆新大師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
岡本錦竜	(広島県)	6・1

◆新師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
長野城義	(静岡県)	6・1
赤井錦弘	(静岡県)	6・1
海野錦恵	(静岡県)	6・1
佐藤錦正	(福島県)	6・3
鈴木錦江	(福島県)	6・3

本部の動き	(5・11・16より6・3・10まで)
11月19日	静岡県本部の講習研修会と昇格審査
26日	吟道之碑前祭
12月15日	常務理事会
1月27日	福島県本部の講習研修会と昇格審査
2月7日	東京都本部の昇格審査
9日	神奈川県本部の昇格審査
3月3日	佐賀県本部の講習研修会
4日	大分県本部の講習研修会と昇格審査
8日	常務理事会

活動報告

名古屋守山支部 廿軒家教場

名古屋守山支部 山本城孝

日時 令和5年11月23日(祝)
場所 廿軒家会館(コミセン)

日頃、練習拠点としていた廿軒家会館で4年ぶりに人数制限のない「会館まつり」が開催され、講座発表として詩吟・民謡・フラダンス・カラオケなどが披露されました。

詩吟では「題不識庵撃機山図」「題太田道灌借蓑図」「名槍日本号」「細川瑤子」(ガラシヤ夫人)・「九月十三夜」・「題常盤抱孤図」の六題を吟じ、大好評を得ました。発表が終わるとお楽しみ抽選会、また飲食コーナーに駆け付け、お腹を満たしました。

最後にうれしい報告を紹介い



新入会員の紹介

(12/1、3/25)

- 古川道場 阿部 巧
甚目寺道場 粉山喜代子
嬉野道場 田中喜朗
名古屋守山支部 藤村加代子
岡垣支部 井上雅博
国分道場 内堀京子
長崎支部 川上博幸
福山松浜支部 山手克己
函館支部 諸橋富子

たします。後日、会館まつりに参加していた女性が詩吟をやりたいと教場を訪れ、入会されました。

- 日野支部 嶋沢清重
世田谷支部 平光英明
彦根支部 小島榮太郎 山本 宏
水巻支部 今別府加代子
広島牛田東道場 花田一明
船橋道場 飯島米子
台東道場 尾関一旗 羽毛田高嗣
佐久道場 吉村真理
加世田道場 藤本明代
米原支部 鏝田絹枝

～加藤城勲総師範～
バリバスのプロモーション動画で
釣り師・剣術家と共演【公開配信中】
釣り師・大久保幸三氏(プロアングラー)
剣術家・関 展秀氏(朝山一傳流兵法・第22世宗家)

一月半ば、釣具総合メーカー・バリバスが、世界中の釣りマニア・武道愛好者に向けて、釣り師・剣術家で織りなすプロモーション動画をYouTubeで「剣術家×プロアングラー・極める」とは」と題し、配信しました。世界には日本の伝統文化に関心を持つ方々も多く、特に大和魂や武士道と言うものに大変興味を持っています。

味をお持ちと聞いています。そこで今回、この動画に適合した詩吟を小生に担当して欲しいと提案がありましたので、これは幅広く詩吟を紹介できる千載一遇の好機であり、誠に光栄な事と有難くお受けいたしました。吟の内容についての要望は、最強の怪物にも怯まず、戦いに挑む勇者を表現し、武士道、大和魂という言葉、更に道を極めた者しか見えてこない・・・的なものが希望とのことでした。自分が稽古した中には、これらの内容を満たすものは無く、ならば、自分で作詞するほかならぬと思い、浅学非才を顧みず「浅山一傳流兵法」を参考に作詞してみました。結果が、次の駄作です。

催事ののご案内
(令和6年4月～6年12月)
◆本会主催 ◆本会後援
◆長崎県本部発足70周年記念大会
◆広島県本部発足60周年記念大会

- 4月7日(日) 大村市 シーハット大村さくらホール
4月14日(日) 福山市 県民文化センターふくやま
◆定時総会、指導者講習・研修会
6月20日(木)～21日(金) 東京都港区ニッショウホール
9月14日(土) 福岡琵琶吟研究会公開発表会
9月29日(日) 鹿児島市 クローバープラザ 鹿児島県本部発足60周年記念大会
9月29日(日) 鹿児島市 城山ホテル鹿児島
◆一般社団法人詩吟朗詠錦城会 全国大会
10月13日(日) 函館市 函館市民会館
◆全国吟剣詩舞道大会(吟道之碑顕彰・維持管理事業)
11月24日(日) 東京都港区ニッショウホール

- 藤沢支部 光宗すみれ
出水道場 森山 廣
福岡中央道場 江口優月
広島南支部 佐久間桃子 池上 寛紀 池上沙希 花田一明
大野城道場 榑崎タツエ 若林 幸子 椎木静代 安部あつ子
平田不二香 小野道夫
日立支部 芳根トミ子 武藤洋子
函館支部 高橋緑郎

# 琵琶湖を樂しむ吟行会

石山支部 杉田錦瑛

令和5年12月に石山支部の吟行会「びわ湖岸をぐるつと巡る旅」を企画しました。まずは、堅田の浮御堂を左に琵琶湖大橋を渡り、「題近江八景図」を合吟。びわ湖を巡ると多くの漢詩が詠まれていることに改めて感心しました。

近江の敵島と呼ばれる白髭神社を右に見て安曇川へ。近江の聖人「中江藤樹」先生生誕の地で、儒学者であり、我が国の陽明学派の祖であり、身分の別なく人々に「良知心学」を教えられ、漢詩も多く残しておられます。藤樹神社にて「諸生看月」を皆で合吟させていただきました。

メタセコイア並木の紅葉。通りぬけの予定は、大渋滞の為、車窓からの感動を味わい、二重にくつきりの虹も見ることができ、皆、大喝采でした。ここが琵琶湖の一番北です。「まわりますよ！虹だー」虹が私達を追っかけてくれている様でした。長浜で食事、水鳥ステーション、安土の教林坊庭園を散策。ぎっしり敷きつめられた紅葉の落ち葉に歓喜。二重の虹、ぐるつとまわっても虹！。帰宅後のテレビで今日の珍しい二重の虹



の放送もあり、今日一日の感動が更にアップしました。

詩吟の仲間で楽しい一日が過ぎ、身近な滋賀の良さを改めて感じられたこと、とつても有意義な一日であったことに感謝しました。

また、東北地震復興支援旅行として、宮城、岩手への旅中の交流会で岩手県からは、民謡グラウンドチャンピオンの方が、滋賀県は？で詩吟となり、滋賀県の観光協会から近江八景の資料をいただき配布。詩吟の発表もさせていただきました。詩吟を知らない方もいらつしやり喜んでいただきました。来年は滋賀県に来てくださるとのこと。また、さらに滋賀の良いところを知っていただきますよう、案

## 志気高く！

### 福岡県本部師範研修会が盛会裡に

令和6年2月4日、新型コロナウイルス禍で休止されていた当会が、4年ぶりに開催されました。会場は、遠賀町に新設されたコミュニティセンターである「おんがみらいテラス」と致しました。セルフサービスの施設で、会場の設営や撤去などの自主管理が求められました。

会場の選択の条件として、県下各地から各会員の方々が集ま

り易い場所と致しました。会場は、JR九州の駅に附設されており、皆様から大変喜ばれました。

当日は、東本錦恰本部長が、入院のため、加藤城勲副本部長が代行、益田城真専務理事の指揮の下で全員の協力一致で運営にあたりました。

高齢化や個性化が顕著となり、現代社会が抱える組織作り

内していききたいと思っております。

令和6年1月1日、能登半島地震の被害にあわれました方々に心よりお見舞い申し上げ、亡

の大きな共通課題であります。次の4項目の意見が出され、皆で共通認識し、実践に努力する事といたしました。

一、色々な催事に積極的に参加して詩吟を発表して啓蒙する。(本部長提議)

二、入会が実現した経緯を参考にする。

三、一人一人が廻りの人へ積極的に勧誘する事が肝要である。

四、支部や道場の活動にレクレーション等を取り入れ、楽しい場所づくりを心掛ける。

討議終了後、いよいよ吟の発表となり、73名が休憩を挟んで熱吟されました。今回は、伴奏が尺八からCDとなり、出始めが合わなかったり、音が低かつ

くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、できる限りの支援をさせて頂きたいと思っております。

たため節に乗れないなど苦労した人もいました。でも流石！師範各位、経験の深さや志気の高さで、最後は、きちんと吟じられておりました。

発表会終了後は、会場を模様替えして、懇親会が始まりました。発表の緊張が解けて、各人リラククスして飲食も進み、会場が和やかになりました。カラオケを熱唱する人やリズムダンスに興ずる人等がいて、楽しい一日となりました。最後は、いつもの通り輪になって「錦城会・錦友の歌」を合吟して同友の絆を深めました。

令和7年、福岡県で実施予定の全国大会へ向けて各人が精進する事を契り合って散会いたしました。

(岡垣支部長 大堂城薩)



《琵琶湖》

## 錦友第316号の「編集担当よりのお願い」を読んで

## 徒然なるままに・・・ 茨城県水戸支部 矢須錦鷗

## 長生きは迷惑だねと言ふ母に何時でもどうぞと応へて笑ふ

九十九歳の誕生日に母は逝った。寝込んだのは数か月。明治生まれの母の唯一の楽しみと元気の源は、仲間と集い詩吟を楽しんだその場所にあつたに違いない。  
茶菓子を携えて嬉しそうに出かけた姿は今に鮮明です。

## 浴室より吟詠の声聞こえる今日は体調よし九十歳の母

当時、私も母や母の師匠に詩吟と詩舞の誘いを受けましたが、仕事を理由に聞く耳を持たず通り過ぎました。退職も近かったある時、短歌会の席で錦城会の会員であった友より「詩吟をやりませんか？皆さんいい方で楽しいです。」とのお声かけを頂き入会いたしました。母の所属結社とは異なるものの母は喜んでいました。  
真面目に教場に通り、先生の熱いご指導を頂きましたが、覚え悪く把握できず時が過ぎました。「錦城流の節調難しそうだね」と当時の母。なるほど母の教本と比べるとその通り。皆さんの後に就き、節調なるものを捉えた気がします。短歌も詠めず、詩吟もままたらぬ時詠んだ一首を思い出しました。

## 思ふこと歌にまとまらぬもどかしさ数学には公理と公式がある

あるとき2、3か月の代範の依頼を受けました。まもなく開場を進められました。場所もないとお断りしましたが「豊一豊あれば出来る」との会長のひと言に逆らえず「教えることは出来ないが伝えることは出来るかも」と自らに言い聞かせ、狭いながらに開場しました。

それがやがて詩吟への関心を深める切っ掛けになろうとは。

古いノートやメモ、師範専用書「吟詠の曲節法」「吟詠の発声法」など久々に持ち出して見るものの理解困難。間違っていることは伝えられません。会長より不明の節調の一つ一つを分解する指導を頂いているうちに「自身の詩吟の勉強」であることに気が付きました。顧みるに着実に吟の勉強しているのは今かもしれません。

## 後悔は必ず後からやってくる

発声法などもう少し究めてみたい気持ちが残っているので救われております。

本県の温習会でお会いする度に、94歳になられた青砥城行先生より「詩吟で声を出すことは何ととっても健康によい。さらに漢詩は素晴らしい。絶対やめず続けなさい。」とのお言葉いただいております。感謝です。

# 藤沢支部 六十周年記念発表会を開催

令和6年3月16日(土)、藤沢支部60周年を記念して、発表会を開催しました。藤沢駅にほど近い湘南鎌倉クリスタルホテルに於いて、会員26名が参加して二部構成で発表を行いました。



一部は、それぞれが独吟、二部は構成吟『漢詩で綴る鎌倉・藤沢』と題し、自分たちが住む地域に関連した吟を各教場を中心としたメンバーで発表しました。

網谷一才作「源義経」  
頼山陽作「静御前」  
松口月城作「鉢木」  
明治天皇御製「投げ入れし」

太宰春台作「稲村懐古」

植田実作「護良親王」

菅 茶山作「江ノ島」

乃木希典作「金州城」

新藤則秋作「藤沢宿」

松口月城「平和日本」

最後には、この歴史ある支部で詩吟に出会ったことに感謝し、これからも健康で元気で、いつまでも皆様とのお付き合いが続く事を願い、松口月城作「吟道」を男女で合吟しました。

その後、懇親会に入り、ビンゴゲームやカラオケで楽しいひと時を過ごしました。

会場には、休会・退会された元会員の方がお見えになり、また、初めて詩吟を聴いて、入会された方もいらつしゃいました。

以前に比べ、会員数は随分少なくなりましたが、皆で楽しく頑張つて行こうと思います。

(藤沢支部 岩崎城信)

## お詫びと訂正

前号(三一六号)の5頁3段目の12行目の「北九州市立小倉高校」は「福岡県立小倉高校」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。(S)

## 俳句

読売かながわ文芸欄より

選者 能村研三

この俳句の作者は、神奈川県本部の錦城会会員の「石川城弘」師範です。日頃、詩吟の指導をしていますが、全く知らなかったのですが、先日、遠慮がちに、新聞に載った句を見せてくれました。選に入った俳句の一部をご紹介します。(神奈川県本部 佐藤錦泉)

【秀逸】(令和5年3月25日) 里に居て忙しリモート始かな

【評】「リモート始」という新しい季語を使われているのが面白い。「仕事始」の傍題季語になるのだろうが、正月早々在宅に居ながらもリモートで忙しそうなのは切ない。

【佳作】(令和5年1月21日) 灯火親し旧る街角の本屋消ゆ

【評】街から本屋が消えている。全国的にも10年前より約3割の本屋が減少したとも言われる。好みの本を探しに気軽に通った本屋の灯(あかり)が懐かしい。

【佳作】(令和5年5月27日) 臙なる総一億の治安かな

【評】昔から世界でも最も治安

のよい住みやすい国といわれてきたわが国だが、最近是全国的にも治安の不安を感じるようになってきた。総一億の人がいる日本も臙に包まれてしまったのであろうか。

【佳作】(令和5年7月11日) 種袋未来を宿す色揃え

【評】春先になると花屋の片隅に草花の種が入った紙袋が並べられる。種袋の表面に印刷された植物や野菜のきれいな写真を見ていると、成長する未来を信じて並べられているようであった。

【佳作】(令和5年9月23日) 若き棋士揮毫さやかに雲の峰

【評】将棋の藤井聡太さんが名人として初めて揮毫した文字は「温故知新」。夏雲にもくもくと雲の峰が勢よく盛り上がるさまに若き棋士の清々しさを感じた。

【佳作】(令和5年11月11日) 丸刈りの混ざる球児や天高し

【評】今年の夏の高校野球は慶応高校が優勝したが、頭髪を伸ばした球児の姿が話題となった。以前は殆どの球児が丸刈りであったが、その定番を崩すように丸刈りの生徒が混じるのが目立つという現象がおきたのも時代の変遷なのか。

## 花梨の花

今年、桜の開花が遅れ、今、満開となり(4月7日現在)、あちらこちらで桜祭りが行われています。我が家の庭には、一本だけある花梨が濃いピンクの花をたくさん咲かせています。

花梨と言えば、中学時代の「花梨事件」を思い出します。武田信玄の墓がある恵林寺は、私が通う中学校のすぐそばにありました。美術の時間に、恵林寺で写生が行われましたが、解き放たれた男子は、境内にある花梨の木に石を投げ、花梨の実を落として遊んでいました。

お寺の和尚さんが怒って、学校に通報し、今後、中学校の生徒の境内への立ち入りを禁止すると言い、全員、学校に呼び戻され、写生をしていたスケッチブックを提示させられました。もちろん、遊んでいたのだから、その時、私は近くにいた生徒に自分のスケッチブックを手渡し、その生徒は、そのスケッチブックを先生に見せました。バレバレでしたが、先生は怒ることとせず無事、難を逃れました。花梨の花を見ながら、今では想像もできない穏やかな中学生時代を思い出しています。(座間道場 佐藤錦泉)